

特別活動経営

1 研究主題

集団の一員として、見通しをもって主体的に活動する生徒の育成

2 主題設定の理由

生徒を取り巻く社会環境は変化し、物質的な豊かさが快適な生活を生み出す一方で、心のゆとり、人間的な触れ合いが減少してきている。そのことが温かい人間関係を築けない生徒や他者とのかかわりを求めようとしない生徒の増加をもたらしている。生徒の社会性の不足や自立の遅れが指摘される中、社会の一員としての自覚をもち、責任ある行動がとれる人間の育成が求められている。しかし、この自覚や責任は自然に発生するものではなく、自分の所属する様々な集団の中で、所属感や連帯感をもつことにより育つと考え本主題を設定した。

3 経営の重点と具体的施策

(1) 平成19年度の成果と課題から

- ① 「学級経営等の指導の手法」を共有する場としての研修会
・実践発表研修会（全体もしくは学年部）を行って、学級活動の在り方について研修を深める。
- ② 学活や選択学活などの時間を運用した話し合い活動の充実
・「学級会」を通じた学級・学年・学校の集団づくりに努め、それぞれの目指すゴールを意識した行動力を培う。

(2) 学級活動の充実のために

- ① 学年・学級経営案を保護者に提示し、保護者の希望や意向を反映した学年・学級経営に努める。
- ② 係や当番活動は、集団を運営する大事な役割であることを意識させ、自分の役割に責任をもって活動できるよう指導・助言を与える。
- ③ 学級のシステムづくりを確立するために、「特別活動資料」を活用するとともに、班での各々の役割に責任をもたせ、学級運営に個々の存在意義を感じさせる。

(3) 生徒会活動の活性化のために

- ① 生徒会の各組織がうまく機能し、連携をとりながら運営する。
- ② 委員会活動の強化（生徒個々の自治意識、学級・学年・学校の一員としての自覚）を図る。
- ③ 学年集会や全校集会等の諸活動の充実（リーダーの伸長）を図る。
- ④ 地域との連携による社会性の育成に努める。

(4) 活動の質の向上のために

- ① 校内外に通用する社会性を育てるために、生徒指導三原理を日常化させる。
- ② 各行事のもつ意味を意識させ、生徒の話し合い活動などを含めた事前事後の活動を大事にし、各体験活動から学び得たものを日常生活に生かせるようにする。